

PRIMERGY ES320 取扱説明書への追記と修正

このたびは、弊社の PRIMERGY（プライマジー）ES320 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。

本サーバに添付されております「PRIMERGY ES320 取扱説明書(P3F1-0100-01)」をはじめとする本装置に添付されるマニュアルに内容の追加・訂正がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読み下さるようお願いいたします。

平成 13 年 6 月

富士通株式会社

概要

1. 運用上の注意事項

(1) ディスプレイドライバに関する注意事項	1
(2) NetWare5.1 ご使用時の注意事項	2
(3) SCSI アレイコントローラカード実装時の留意事項	2

2. PRIMERGY ES320 取扱説明書への追記と修正

(1) 2.1 梱包物の確認	3
(2) Windows 2000 Server でのスタンバイ機能および休止機能について	3
(3) DMA Transfer Mode の工場出荷設定値の変更	4
(4) System BIOS ID による閾値の変更	5
(5) 5.5 CPU の取り付け	8
(6) 5.6.4 5 インチ内蔵オプションの取り付け / 取り外し	9
(7) 5.7.1 拡張カードの種類	11
(8) 6.2 SCSI アレイコントローラカード使用時の注意事項	16
(9) RAID カード追加にともなう OS インストール手順の追加	17
(10) 拡張 RAM モジュール搭載時の注意	20
(11) 6.7 Servervisor / Intel® LANDesk® Server Manager について	
2	1
(12) 起動監視機能 (POST 監視) に関する注意事項	22

1. 運用上の注意事項

(1) ディスプレイドライバに関する注意事項

Windows NT Server 4.0 および Windows 2000 Server でのディスプレイドライバに関する注意事項を以下に示します。

- Windows NT Server 4.0 において、3D(OpenGL)のプログラムを使用した場合、画面の表示の乱れや、3D のプログラムが異常終了する場合があります。その場合は、『画面のプロパティ』の設定で、色数を 256 色(8 ビット)または 16777216 色(24 ビット)に設定し運用してください。
- Windows NT Server 4.0 において、カラーパレットに True Color を設定している場合、Regedt32 を起動するとレジストリエディタ内のアイコンが表示されないことがあります。Regedt32 をお使いになる時は True Color 以外を設定してください。
- Windows NT Server 4.0 および Windows 2000 Server において、『画面のプロパティ』のスクリーンセーバーの設定で、ラインアートを選択すると、画面がちらつくことがあります。ディスプレイの故障ではありません。

- Windows 2000 Server 上のデバイスマネージャを表示すると、モニタが2つ表示されますが、運用上特に支障はありません。

(2)NetWare5.1 ご使用時の注意事項

PRIMERGY ES320 において、NetWare5.1 をご使用する場合に発生する問題に関して、以下の注意事項があります。

GP5-127 を使用したソフトミラー環境での問題

SCSI カードの負荷が高い場合、HDD 異常として OS が誤検出する場合があります。これにより、ミラー時にHDD が切り離される等の現象が発生します。

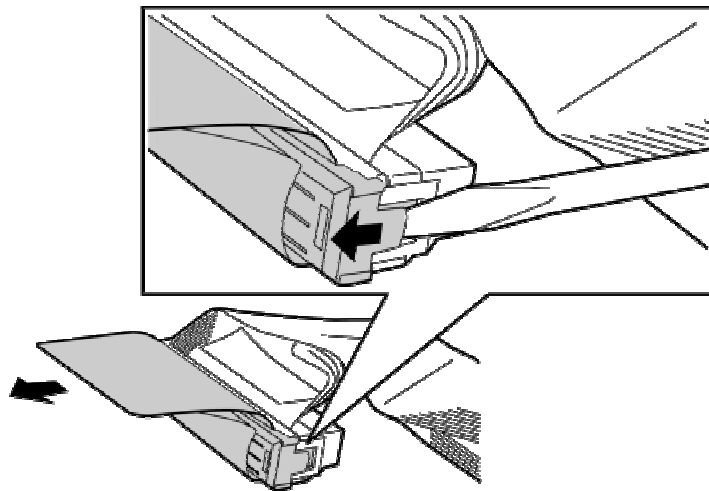
NetWare5.1 をご使用になる場合はNetWare5.1 L10 アップデートパック U001 以降が必須となります。

(3)SCSI アレイコントローラカード実装時の留意事項

SCSI アレイコントローラカード(GP5-150/1501)を Wide SCSI ケーブル(装置添付品)と接続する場合、ケーブルコネクタの幅斜状が大きいため、とりつかない問題があります。

以下の手順にもとづき改造作業を行ってください。

1. 装置に添付される Wide SCSI ケーブルの RAID カード側コネクタのストレインリリーフを、マイナスドライバ等を使用し取り外してください。



2. ストレインリリーフを外した後、RAID カードに接続してください。

2. 『PRIMERGY ES320 取扱説明書』への追記と修正

『PRIMERGY ES320 取扱説明書』に対する追加・訂正記事を以下に記します。

(1) 2.1 梱包物の確認 (P19)

- ・ラックマウントタイプの梱包物一覧からラックナットを削除。

誤:

タイプ	名称	備考
ラックマウント タイプ	M6 コネジ	12 個 (サーバ本体とラックを固定する ときに使用)
	ラックナット	2 本
	DAT オートチェンジャ用電源ケー ブル	1 本

正:

タイプ	名称	備考
ラックマウント タイプ	M6 コネジ	12 個 (サーバ本体とラックを固定する ときに使用)
	DAT オートチェンジャ用電源ケー ブル	1 本

- ・注意事項を追加。

「SupportDesk Product サービス」証書が添付されている場合には、保証書は添付されません。

(2) Windows 2000 Server でのスタンバイ機能および休止機能について (P42)

Windows 2000 Server でのスタンバイ機能および休止機能についての注意事項を追加

誤:

電源切断時の注意事項について (OS が Windows 2000 Server の場合)

OS の設定により「休止状態」になります。

正:

電源切断時の注意事項について (OS が Windows 2000 Server の場合)

電源スイッチの動作モードは、OS の設定により「スタンバイ」「休止状態」「電源オフ」の指定ができます。

本サーバでは、スタンバイ機能や休止機能に相当する機能は BIOS やハードウェアの機能としてサポートを行っておりますが、本サーバに搭載される一部のドライバやソフトウェアにおいては、当機能は未サポートとなっております。このためスタンバイ機能や休止機能に相当する機能は、本サーバではご使用できません。「スタンバイ」または「休止状態」に設定した場合、システムが不安定になる場合やハードディスクのデータが破壊される恐れがあります。

動作モードの設定については、OS に添付されている取扱説明書を参照のうえ、「電源オフ」に設定してください。

(3)DMA Transfer Mode の工場出荷設定値の変更

DMA Transfer Mode の工場出荷設定値を Auto から Disabled に変更。

・「4.3.8 Disk Drives メニュー」(P71)

誤:

DMA Transfer Mode (変更禁止)

CD-ROMドライブユニットでDMA(Direct Memory Access)転送モードにするかどうかを設定します。

- Auto (工場出荷設定値)
DMA 転送を自動的に認識します。
- Disabled
DMA 転送を使用しません。
- Multiword Mode 0 / 1 / 2
複数のデータを連続的に一括でDMA 転送します。
- Ultra Mode 0 / 1 / 2 / 3 / 4
Ultra DMA モードで転送します。

正:

DMA Transfer Mode (変更禁止)

CD-ROMドライブユニットでDMA(Direct Memory Access)転送モードにするかどうかを設定します。

- Auto
DMA 転送を自動的に認識します。
- Disabled (工場出荷設定値)
DMA 転送を使用しません。
- Multiword Mode 0 / 1 / 2
複数のデータを連続的に一括でDMA 転送します。
- Ultra Mode 0 / 1 / 2 / 3 / 4
Ultra DMA モードで転送します。

・「B.1.2 BIOS セットアップ項目」(P340)

誤:

Disk Drives メニューの設定項目

IDE Primary Channel Master	[Press Enter]			
:	:			
DMA Transfer Mode	Auto	Disabled	Multiword Mode0	
	Multiword Mode1	Multiword Mode2		
	Ultra Mode0	Ultra Mode1	Ultra Mode2	Ultra
	Mode3	Ultra Mode4		

正:

Disk Drives メニューの設定項目

IDE Primary Channel Master	[Press Enter]			
:	:			
DMA Transfer Mode	Auto	Disabled	Multiword Mode0	
	Multiword Mode1	Multiword Mode2		
	Ultra Mode0	Ultra Mode1	Ultra Mode2	Ultra
	Mode3	Ultra Mode4		

(4)System BIOS ID による閾値の変更

System BIOS ID により、CPU 温度閾値を変更します。

System BIOS ID は「4.3.7 Product Informationメニュー」(P66)を参照願います。

・「4.3.14 System Event Log メニュー」(P91)

誤:

Temperature Threshold Setting(変更禁止)

CPU およびシステムの警告温度 / 危険温度を設定します。

CPU

CPU の温度異常を通知する温度を設定します。

- 60 (40 ~ 65)

CPU の警告温度(上限)を 40 ~ 65 の間で設定します。

工場出荷時設定値は 60 です。

- 65 (55 ~ 80)

CPU の警告温度(上限)を 55 ~ 80 の間で設定します。

工場出荷時設定値は 65 です。

正:

Temperature Threshold Setting(変更禁止)

CPU およびシステムの警告温度 / 危険温度を設定します。

CPU

CPU の温度異常を通知する温度を設定します。

[System BIOS ID がR04-A4 F4 EN または R04-A5 F4 EN の場合]

- 60 (40 ~ 65)

CPUの警告温度(上限)を40 ~ 65 の間で設定します。

工場出荷設定値は、60 です。

- 65 (55 ~ 80)

CPUの危険温度(上限)を55 ~ 80 の間で設定します。

工場出荷設定値は、65 です。

[System BIOS ID が上記以外の場合]

- 65 (40 ~ 80)

CPUの警告温度(上限)を40 ~ 80 の間で設定します。

工場出荷設定値は、65 です。

- 70 (55 ~ 90)

CPUの危険温度(上限)を55 ~ 90 の間で設定します。

工場出荷設定値は、70 です。

System BIOS ID により、CPU の電圧閾値、またマザーボードの版数により、+2.5V ラインの電圧閾値を変更します。

System BIOS ID は「4.3.7 Product Information メニュー」(P66)を参照願います。

マザーボード版数はマザーボード上の版数ラベルを参照願います(図1を参照)。

・「4.3.14 System Event Log メニュー」(P92)

誤:

項目	危険 (下閾)	警告 (下限)	警告 (上限)	危険 (上限)
CPU	1.4	1.5	1.8	1.9
+1.5V	1.3	1.4	1.6	1.7
+1.8V	1.6	1.7	1.9	2.0
+2.5V	2.2	2.3	2.7	2.8
+2.85V	2.5	2.6	3.1	3.2
+3.3V	2.9	3.1	3.5	3.7
+3.3V Standby	2.9	3.1	3.5	3.7
+5V	4.5	4.6	5.4	5.5
+12V	10.6	10.7	13.3	13.4
-12V	9.6	10.1	13.9	14.4

正:

項目		危険 （下閾）	警告 （下限）	警告 （上限）	危険 （上限）
CPU	System BIOS ID が R04-A4 F4 EN または R04-A5 F4 EN の場合	1.4	1.5	1.8	1.9
	System BIOS ID が 上記以外の場合	1.5	1.6	1.9	2.0
+1.5V		1.3	1.4	1.6	1.7
+1.8V		1.6	1.7	1.9	2.0
+2.5V	マザーボード版数が A1,A101,A102,B1,C1,D1,E1 の場合	2.2	2.3	2.7	2.8
	マザーボード版数が F1 以降の 場合	2.4	2.5	2.9	3.0
+2.85V		2.5	2.6	3.1	3.2
+3.3V		2.9	3.1	3.5	3.7
+3.3V Standby		2.9	3.1	3.5	3.7
+5V		4.5	4.6	5.4	5.5
+12V		10.6	10.7	13.3	13.4
-12V		9.6	10.1	13.9	14.4

・「B.1.2 BIOS セットアップ項目」(P344)

System BIOS ID により CPU の温度 / 電圧閾値、またマザーボードの版数により、+2.5Vラインの電圧閾値を変更します。

System BIOS ID は「4.3.7 Product Informationメニュー」(P66)を参照願います。

マザーボード版数はマザーボード上の版数ラベルを参照願います(図1を参照)。

System Event Log メニューの設定項目

誤:

設定項目	設定値(: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)			
Temperature Threshold Setting				
CPU	60	65		
System	0	5	42	47
Voltage Threshold Setting				
1st CPU Core Voltage	CPU スロット 1 の CPU の電圧表示			
2nd CPU Core Voltage	CPU スロット 2 の CPU の電圧表示			
CPU	1.4	1.5	1.8	1.9
+1.5V	1.3	1.4	1.6	1.7
+1.8V	1.6	1.7	1.9	2.0
+2.5V	2.2	2.3	2.7	2.8
+2.85V	2.5	2.6	3.1	3.2
+3.3V	2.9	3.1	3.5	3.7
+3.3V Standby	2.9	3.1	3.5	3.7
+5V	4.5	4.6	5.4	5.5
+12V	10.6	10.7	13.3	13.4
-12V	9.6	10.1	13.9	14.4

正:

設定項目		設定値(: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)			
Temperature Threshold Setting					
CPU	System BIOS ID が R04-A4 F4 EN, R04-A5 F4 EN の場合	60	65		
	System BIOS ID が上記以外の場合	65	70		
System		0	5	42	47
Voltage Threshold Setting					
1st CPU Core Voltage		CPU スロット 1 の CPU の電圧表示			
2nd CPU Core Voltage		CPU スロット 2 の CPU の電圧表示			
CPU	System BIOS ID が R04-A4 F4 EN, R04-A5 F4 EN の場合	1.4	1.5	1.8	1.9
	System BIOS ID が上記以外の場合	1.5	1.6	1.9	2.0
+1.5V		1.3	1.4	1.6	1.7
+1.8V		1.6	1.7	1.9	2.0
+2.5V	マザーボード版数が A1, A101, A102, B1, C1, D1, E1 の場合	2.2	2.3	2.7	2.8
	マザーボード版数が F1 以降の場合	2.4	2.5	2.9	3.0
+2.85V		2.5	2.6	3.1	3.2
+3.3V		2.9	3.1	3.5	3.7
+3.3V Standby		2.9	3.1	3.5	3.7
+5V		4.5	4.6	5.4	5.5
+12V		10.6	10.7	13.3	13.4
-12V		9.6	10.1	13.9	14.4

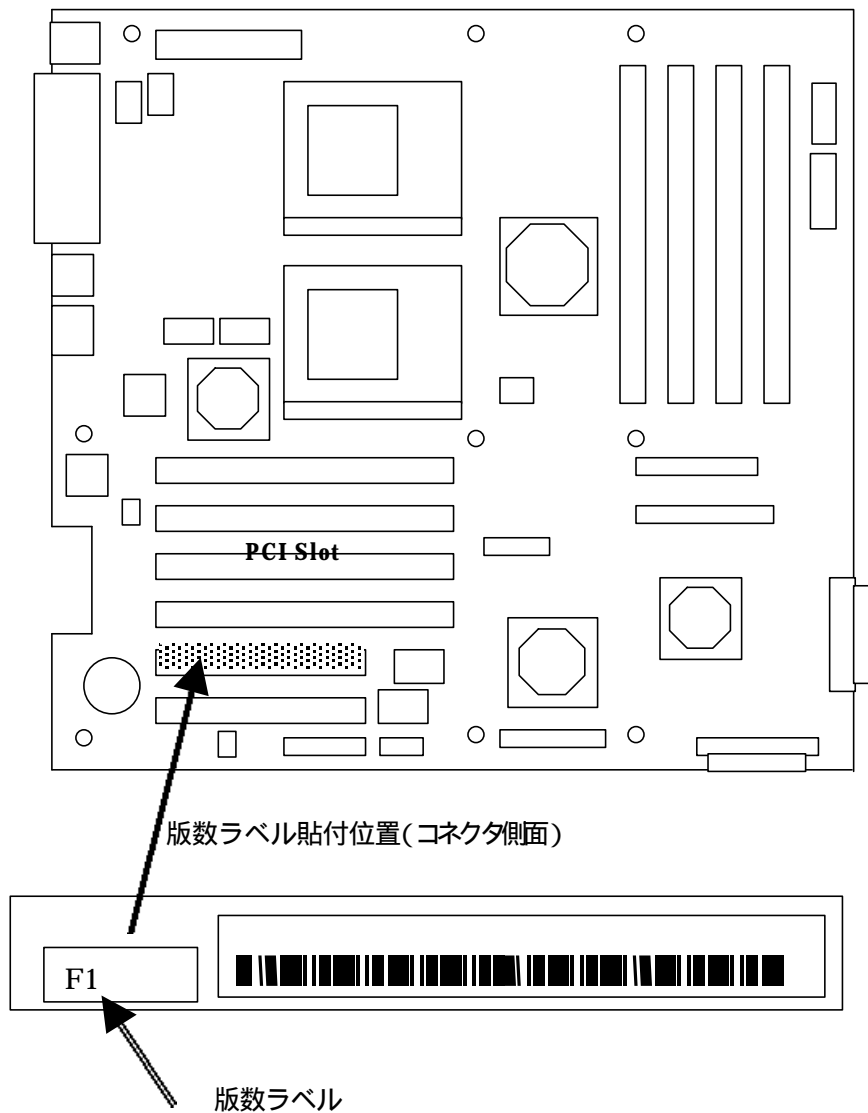


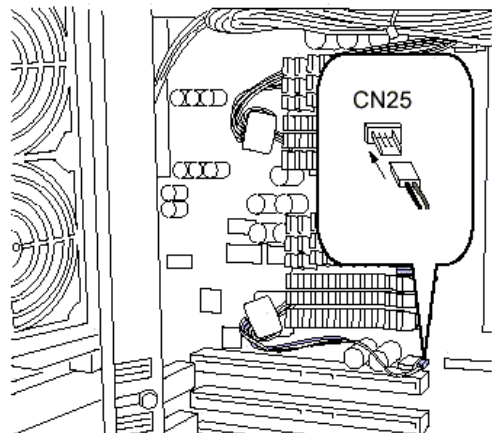
図1 マザーボード版数

(5) 「5.5 CPU の取り付け」(P140)

手順 8 のサーマルセンサーケーブルの色指定を削除

8 サーマルセンサーケーブルをベースボードに挿し込みます。

CPU フィールドグレードアップキットのケーブルをベースボードの CN25 コネクタに取り付けます。サーマルセンサーケーブルの色は個々に異なる場合がありますので、コネクタの向きを確認して取り付けてください。



(6) 「5.6.4 5 インチ内蔵オプションの取り付け/取り外し」 (P149)

内蔵光磁気ディスクユニット(GP5-PD239)接続インタフェースの変更および注意事項追加
誤：

取り付ける前に

5 インチ内蔵オプション		接続インタフェース	接続可能なベイ	
			ベイ 2	ベイ 3
内蔵 DAT ユニット				
	GP5-DT301	Narrow		
	GP5-DT401	Wide		
内蔵光磁気ディスクユニット				
	GP5-PD237	Narrow		
	GP5-PD239	Wide		
内蔵 DLT ユニット (*1)				
	GP5-DL201	Narrow	-	1 台でベイ 2 / ベイ 3 を占有
	金具 GP5-BC2	-		
内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット				
	GP5-SL501	Narrow		-
	GP5-ML301	Wide	最大 1 台のみ搭 載可能	-
内蔵 DAT オートチェンジャ (*2)				
	GP5-DTA101	Narrow	-	1 台でベイ 2 / ベイ 3 を占有
	GP5-DTA102	Wide	-	1 台でベイ 2 / ベイ 3 を占有

*1) 内蔵 DLT ユニットの搭載する場合は、金具 GP5-BC2 が必要です。

*2) 内蔵 DAT オートチェンジャをラックマウントタイプに搭載する場合は、サーバ本体に添付されている電源ケーブルが必要です。

正：

取り付ける前に

5 インチ内蔵オプション	接続インタフェース	接続可能なベイ	
		ベイ 2	ベイ 3
内蔵 DAT ユニット			
GP5-DT301	Narrow		
GP5-DT401	Wide		
内蔵光磁気ディスクユニット			
GP5-PD237	Narrow		
GP5-PD239	Narrow		
内蔵 DLT ユニット (*1)			
GP5-DL201	Narrow	-	1 台でベイ 2 / ベイ 3 を占有
金具 GP5-BC2	-		
内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット			
GP5-SL501	Narrow		-
GP5-ML301	Wide	最大 1 台のみ搭 載可能	-
内蔵 DAT オートチェンジャ (*2)			
GP5-DTA101	Narrow	-	1 台でベイ 2 / ベイ 3 を占有
GP5-DTA102	Wide	-	1 台でベイ 2 / ベイ 3 を占有

*1) 内蔵 DLT ユニットを搭載する場合は、金具 GP5-BC2 が必要です。

*2) 内蔵 DAT オートチェンジャをラックマウントタイプに搭載する場合は、サーバ本体に添付されている電源ケーブルが必要です。

搭載する 5 インチ内蔵オプションの条件	接続先	注意事項
1 台目に以下の 5 インチ内蔵オプションを搭載 内蔵 DAT ユニット (GP5-DT301) 内蔵光磁気ディスクユニット (GP5-PD237) 内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット (GP5-SL501)	オンボード Narrow SCSI コネクタ	
A. 2 台目に以下の 5 インチ内蔵オプションを搭載 内蔵 DAT ユニット (GP5-DT301) 内蔵光磁気ディスクユニット (GP5-PD237)	オンボード Narrow SCSI コネクタ	1 台目とディジー接続
B. 2 台目に以下の 5 インチ内蔵オプションを搭載 内蔵 DAT ユニット (GP5-DT401)	SCSI カード (GP5-127) の Wide SCSI コネクタ	SCSI カード (GP5-127) が必要
1 台目に以下の 5 インチ内蔵オプションを搭載 内蔵 DAT ユニット (GP5-DT401) 内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット (GP5-ML301)	オンボード Wide SCSI コネクタ 2 ただし、B の場合は、SCSI カード (GP5-127) の Wide SCSI コネクタに接続	2 台目用に SCSI カード (GP5-127) が必要
A. 2 台目に以下の 5 インチ内蔵オプションを搭載 内蔵 DAT ユニット (GP5-DT401)	SCSI カード (GP5-127) の Wide SCSI コネクタ	SCSI カード (GP5-127) が必要
B. 2 台目に以下の 5 インチ内蔵オプションを搭載 内蔵 DAT ユニット (GP5-DT301) 内蔵光磁気ディスクユニット (GP5-PD237)	オンボード Narrow SCSI コネクタ	1 台目用に SCSI カード (GP5-127) が必要
内蔵 DLT ユニット (GP5-DL201)	オンボード Narrow SCSI コネクタ	2 ベイ占有、 GP5-BC2 が必要
内蔵 DAT オートチェンジャ (GP5-DTA101)	オンボード Narrow SCSI コネクタ	2 ベイ占有、 サーバ本体に添付の電源ケーブルが必要
内蔵 DAT オートチェンジャ (GP5-DTA102)	オンボード Wide SCSI コネクタ	2 ベイ占有、 サーバ本体に添付の電源ケーブルが必要

*) GP5-PD239 は GP5-PD237 と同じです。

(7) 「5.7.1 拡張カードの種類」(P159)

SafeCLUSTER/Compact 使用時の LAN カード(GP5-183)最大搭載枚数変更の注意事項の削除
および新たに拡張カードを追加(RAID/LAN カード)。

誤:

[搭載枚数]

搭載カード (型名)	バス	搭載枚数	備考
SCSIアレイコントローラカード(GP5-143)	PCI	最大1	内蔵アレイシステム用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-144)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-145)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-146)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-148)	PCI	最大2 合計最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSICカード(GP5-127)	PCI	最大3	内蔵・外付けSCSI装置用
ファイバーチャネルカード(GP5-FC101)	PCI	最大2 合計最大3	DLTライブラリ接続用
LANカード(GP5-181)	PCI	最大3	10BASE-5/2/T
LANカード(GP5-183)	PCI	最大1 (*1)	1000BASE-SX
LANカード(GP5-185)	PCI	最大3	100BASE-TX
LANカード(GP5-186)	PCI	最大1	100BASE-TX, Dual
LANカード(GP5-187)	PCI	最大3	100BASE-TX, IPsec
クラスタキット4(GP5S634)	PCI	最大2 合計最大3 (*2)	
RS-232Cカード(GP5-162)	PCI	最大2	
通信カードV/X(GP5-163)	PCI	最大2	
ISDNカード(GP5-165)	PCI	最大2 合計最大3	
サーバモニタモジュール(GP5-SM103)	PCI	最大1	
サーバマネージメントアシストボード (GP5-SMB101)	PCI	最大1	
暗号プロセッサカード(GP5-CP101)	PCI	最大1	2スロット占有
FAXモデムカード(FMV-FX533)	PCI	最大1	
ISDN接続G3/G4FAX通信カード(GP5-161)	PCI	最大4	

*1) SafeCLUSTER/Compact使用時のみ最大搭載枚数は2枚になります。

*2) LANカードの最大搭載枚数は3枚ですが、LANカード (GP5-186) を含む場合は最大枚数は2枚になります。

正:

[搭載枚数]

搭載カード(型名)	バス	搭載枚数	備考
SCSIアレイコントローラカード(GP5-143)	PCI	最大1	内蔵アレイシステム用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-144/1441)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-145)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-146)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-148)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-150/1501)	PCI	最大2	内蔵・ハードディスクキャビネット接続用
SCSIアレイコントローラカード(GP5-151)	PCI	最大1 合計最大2	内蔵アレイシステム用
SCSIカード(GP5-127)	PCI	最大3	内蔵・外付けSCSI装置用
ファイバーチャネルカード(GP5-FC101)	PCI	最大2 合計最大3	DLTライブラリ接続用
LANカード(GP5-183)	PCI	最大2	1000BASE-SX
LANカード(GP5-188)	PCI	最大2	1000BASE-SX
LANカード(GP5-189)	PCI	最大2 合計最大2	1000BASE-T
LANカード(GP5-181)	PCI	最大3	100BASE-5/2/T
LANカード(GP5-185)	PCI	最大3	100BASE-TX
LANカード(GP5-186)	PCI	最大1	100BASE-TX, Dual
LANカード(GP5-187)	PCI	最大3	100BASE-TX, IPsec
クラスタキット4(GP5S634)	PCI	最大2 合計最大3 (*1)	
RS-232Cカード(GP5-162)	PCI	最大2	
通信カードV/X(GP5-163)	PCI	最大2	
ISDNカード(GP5-165)	PCI	最大2 合計最大3	
サーバモニタモジュール(GP5-SM103)	PCI	最大1	
サーバマネージメントアシストボード(GP5-SMB101)	PCI	最大1	
暗号プロセッサカード(GP5-CP101)	PCI	最大1	2スロット占有
FAXモデムカード(FMV-FX533)	PCI	最大1	
ISDN接続G3/G4FAX通信カード(GP5-161)	PCI	最大4	

*1) LANカードの最大搭載枚数は3枚ですが、LANカード(GP5-186)を含む場合の最大枚数は2枚になります。

誤:

[搭載位置]

搭載可能な拡張カード (型名)	PCIスロット					
	64 ビット				32 ビット	
	1	2	3	4	5	6
サーバモニタモジュール (GP5-SM103)	-	-	-	-		-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-143)		-	-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-144)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-145)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-146)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-148)			-	-	-	-
SCSIカード (GP5-127)	-					
ファイバーチャネルカード (GP5-FC101)				-	-	-
暗号プロセッサカード (GP5-CP101)					-	-
LAN カード (GP5-181)						
LAN カード (GP5-183)						
LAN カード (GP5-185)						
LAN カード (GP5-186)						
LAN カード (GP5-187)						
クラスタキット 4 (GP5S634)						
RS232C カード (GP5-162)						
通信カード V/X (GP5-163)						
ISDN カード (GP5-165)						
ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード (GP5-161)						-
FAX モデムカード (FMV-FX533)						
サーバマネージメントアシストボード (GP5-SMB101)	-	-	-	-		

- : 搭載不可を示す

正:

[搭載位置]

搭載可能な拡張カード (型名)	PCIスロット					
	64 ビット				32 ビット	
	1	2	3	4	5	6
サーバモニタモジュール (GP5-SM103)	-	-	-	-		-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-143)		-	-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-144/1441)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-145)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-146)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-148)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-150/1501)			-	-	-	-
SCSIアレイコントローラカード (GP5-151)		-	-	-	-	-
SCSIカード (GP5-127)	-					
ファイバーチャネルカード (GP5-FC101)				-	-	-
暗号プロセッサカード (GP5-CP101)					-	-
LAN カード (GP5-181)						
LAN カード (GP5-183)						
LAN カード (GP5-185)						
LAN カード (GP5-186)						
LAN カード (GP5-187)						
LAN カード (GP5-188)						
LAN カード (GP5-189)						
クラスタキット 4 (GP5S634)						
RS232C カード (GP5-162)						
通信カード V/X (GP5-163)						
ISDN カード (GP5-165)						
ISDN 接続 G3/G4 通信カード (GP5-161)						-
FAX モデムカード (FMV-FX533)						
サーバマネージメントアシストボード (GP5-SMB101)	-	-	-	-		

- : 搭載不可を示す

誤:

[搭載順序]

各拡張カードは次の表の優先順位にしたがって使用してください。

優先順	搭載拡張カード
1	サーバモニタモジュール (GP5-SM103) サーバマネージメントアシストボード (GP5-SMB101)
2	SCSI アレイコントローラカード (GP5-143) SCSI アレイコントローラカード (GP5-148) SCSI アレイコントローラカード (GP5-145) SCSI アレイコントローラカード (GP5-146) SCSI アレイコントローラカード (GP5-144)
3	ファイバーチャネルカード (GP5-CP101) SCSI カード (GP5-127)
4	暗号プロセッサカード (GP5-CP101) ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード (GP5-161)
5	LAN カード (GP5-183) LAN カード (GP5-186) LAN カード (GP5-181) LAN カード (GP5-185) LAN カード (GP5-187) クラスタキット 4 (GP5S634)
6	FAX モデムカード (FMV-FX533) RS232C カード (GP5-162) 通信カード V/X (GP5-163) ISDN カード (GP5-165)

優先順位が同じ場合は上のカードを先に搭載してください。

正:

[搭載順序]

各拡張カードは次の表の優先順位にしたがって使用してください。

優先順	搭載拡張カード
1	サーバモニタモジュール (GP5-SM103) サーバマネージメントアシストボード (GP5-SMB101)
2	SCSI アレイコントローラカード (GP5-143) SCSI アレイコントローラカード (GP5-151) SCSI アレイコントローラカード (GP5-150/1501) SCSI アレイコントローラカード (GP5-148) SCSI アレイコントローラカード (GP5-145) SCSI アレイコントローラカード (GP5-146) SCSI アレイコントローラカード (GP5-144/1441)
3	ファイバーチャネルカード (GP5-CP101) SCSI カード (GP5-127)
4	暗号プロセッサカード (GP5-CP101) ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード (GP5-161)
5	LAN カード (GP5-183) LAN カード (GP5-188) LAN カード (GP5-189) LAN カード (GP5-186) LAN カード (GP5-181) LAN カード (GP5-185) LAN カード (GP5-187) クラスタキット 4 (GP5S634)
6	FAX モデムカード (FMV-FX533) RS232C カード (GP5-162) 通信カード V/X (GP5-163) ISDN カード (GP5-165)

優先順位が同じ場合は上のカードを先に搭載してください。

(8) 「6.2 SCSI アレイコントローラカード使用時の注意事項」 (P199)

SCSI アレイコントローラカード(GP5-150/GP5-1501/GP5-151)の設定を追加。

・SCSI アレイコントローラカードの設定

[SCSI アレイコントローラカード(GP5-150/GP5-1501/GP-151)の場合]

Storage Manager on ROM (SMOR)を起動して確認します。

SMOR の起動方法は、次のとおりです。

1 サーバ本体の電源を入れます。

2 画面にI2O BIOS のメッセージが表示されている間に、[Ctrl]+[A] キーを押します。

SMOR が起動します。

SMOR を起動した後、SmartROM 設定画面およびコントローラ情報ウィンドウの Configuration タブ、Bus Configuration タブで設定を確認します。

SMOR の操作方法、および各設定の確認、変更方法はカード添付のマニュアルを参照してください。SmartROM 設定画面で、以下のように設定されていることを確認してください。

コントローラパラメタ	設定値
Enable Bootable CD-ROMs	Disabled
Scan Delay	Default
EBDA Relocation	Disabled
Enable Extended Int13	Enabled

さらにすべての SCSI アレイコントローラカードおよびコントローラバスについて、コントローラ情報ウィンドウの Configuration タブおよび Bus Configuration タブで以下のように設定されていることを確認してください。

パラメタ	設定値
・ Configurationタブ PCI NWI Enable Boot Enable	Enabled Enabled (選択しているアレイコントローラカードから OS を起動する場合) Disabled (選択しているアレイコントローラカードから OS を起動しない場合)
・ Bus Configurationタブ ID Type Width Transfer Rate Termination TERMPWR	7 Ultra160 16 Bit Ultra160 Auto On

(9) RAIDカード追加にともなうOSインストール手順の追加

SCSI アレイコントローラカード(GP5-150/GP5-1501/GP5-151)の追加により、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0 および NetWare5.1 でのインストール手順を追加する。また、管理ツールとして Storage Manager ユーティリティを追加する。

・「6.3.3 Windows 2000 Server のインストール」(P206)

インストール手順

以下に、Windows 2000 Serverを Windows 2000 Server の CD-ROM からインストールする手順について説明します。

[SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合]

サーバ本体に実装の SCSI アレイコントローラカード配下に Windows 2000 Server をインストールするハードディスクユニットが接続されている装置を対象にしています。

1 Windows 2000 Server のCD-ROM を準備します。

サーバの電源投入直後に Windows 2000 Server の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このとき、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていないことを確認してください。ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に以下のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD

この場合、本メッセージが表示されている間に、任意のキーを押すことで CD-ROM からブートします。

2 Windows 2000 Server セットアップ画面が表示されます。

3 手動でドライバを組み込みます。

セットアップ画面表示直後に以下のメッセージが画面下に表示されますので、[F6]キーを押します。

Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver . . .

ポイント このメッセージは、セットアップ画面(青い画面) が表示された直後の僅かな時間しか表示されませんので、画面が青色に変わった後すぐに[F 6] キーを押してください。

1 SCSI アレイコントローラを手動で組み込みます。

以下のオプションが表示されたら[S]キーを押します。

Setup could not determine the type of one or more mass storage device installed in your system, or you have chosen to manually specify an adapter. Currently, setup will load support for the following mass storage device(s).

2 「Press insert the disk labeled Manufacture-supplied hardware support disk into Drive A:」

というメッセージが表示されたら、「GP5-150/151 Windows 2000 Driver & Storage Manager Disk1」をフロッピーディスクドライブにセットし、[Enter] キーを押します。

次のような画面が表示されます。

You have Chosen to configure a SCSI Adapter for use with Windows 2000, using a device support disk provided by an adapter manufacturer.

Select the SCSI Adapter you want from the following list, or press ESC to return to the previous screen.

3 以下を選択します。

Adaptec I2O RAID Host Adapters for Windows 2000

4 画面に表示されるメッセージに従ってインストールをすすめてください。なお、この後のインストール中にフロッピーディスクの挿入を求められますので、以下のフロッピーディスクを指示に従ってフロッピーディスクドライブにセットしてください。

GP5-150/151 Windows 2000 Driver & Storage Manager Disk1

4 インストール作業を続行します。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。以降、セットアッププログラムおよび「Windows 2000 Server ファーストステップガイド」の指示に従って、Windows 2000 Server のインストールを続行します。

注意 再起動時の注意

インストールの途中で、セットアッププログラムが再起動するメッセージを表示します。
この場合、自動的に再起動するのを待ってください。

以降は、本体取扱説明書(P208)を参照して、作業を行ってください。

・「**6.4.3 Windows NT Server 4.0 のインストール**」(P217)

インストール手順

以下に、Windows NT Server4.0 をインストールする手順について説明します。

[SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合]

サーバ本体に実装の SCSI アレイコントローラカード配下に Windows NT Server4.0 をインストールするハードディスクユニットが接続されている装置を対象にしています。

1 電源投入前にWindows NT Server 4.0 のセットアップディスク1 を準備します。

Windows NT Server 4.0 のセットアップディスク1をフロッピーディスクドライブにセットし、サーバの電源を入れます。

このとき、CD-ROM ドライブに CD-ROM が入っていないことを確認してください。

2 Windows NT Server セットアップ初期画面が表示されます。

セットアップ初期画面の指示に従って、セットアップディスクの交換を行います。

3 Windows NT Server セットアップ画面が表示されます。

4 手動でドライバを組み込みます。

セットアップ画面の指示に従って、ディスクコントローラの組み込み画面に移行します。

「大容量記憶装置の検出を省略して・・・」を選択するので、ここで、[S]キーを押し、検出のスキップを行います。

1 SCSI コントローラを手動で選択します。(SCSI アレイコントローラカードをご使用の場合)

GP5-150/GP5-1501/GP5-151 を搭載している場合、「Windows NT で使用する SCSI アダプタ、CD-ROM ドライブ、または特殊なディスクコントローラ・・・」を選択するので、[S]キーを押し、続けてリスト内の

その他 (ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)

を選択します。

「GP5-150/151 Windows NT Driver & Storage Manager Disk1」をフロッピードライブにセットし、[Enter]キーを押します。

リスト内の

Adaptec I2O RAID Host Adapters for NT 4.0

にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押します。

5 選択したコントローラが表示されます。

「セットアップは、コンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました：」の画面において以下が表示されていることを確認し、[Enter]キーを押します。

Adaptec I2O RAID Host Adapters for NT 4.0

6 セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。

このとき、Windows NT Server の CD-ROM を入れる旨のメッセージが表示されたら、Windows NT Server の CD-ROM をセットします。

・「6.5.5 NetWare 5.1 のインストール(SCSI アレイコントローラカード使用時)」(P241)

インストール手順

1 ハードディスクユニットの区画設定、DOS 基本ファイルのコピーを行い、NetWare5.1 のインストーラを起動します。

ここまでの手順については、「6.5.4 NetWare5.1 のインストール」(239 ページ)を参照してください。

2 インストーラの指示に従って、作業を進めていきます。

3 ディスクドライバが検出されます。

「記憶アダプタ」に「IDEATA」、「ADPT160M」、「I2OPCI」が表示されます。

4 [NetWare5.1 の場合]すでに組み込まれているドライバを選択解除します。

「記憶アダプタ」にカーソルを合わせ、[Enter]を押します。

「I2OPCI.NLM」にカーソルを合わせ、[Delete]キーを押します。

5 ディスクドライバをインストールします。

ドライバの追加を選択するため、[Insert]キーを押し、リストにないドライバを選択するため、「Insert」キーを押します。さらに、別のパスを指定するため[F3]キーを押します。

6 フロッピーディスクドライブに「GP5-150/151 NetWare Driver & Storage Manager Disk1」を挿入し、以下のコマンドを入力します。

A:¥NW5 [Enter]

ディスクドライバがコピーされ、「ドライバ名」に「I2OPCI.NLM」が表示されます。

7 「追加ドライバオプション」の「ドライバサマリに戻る」を選択し、インストールを続行します。

8 記憶デバイスを選択します。

「次の ADAPTER をサポートする複数のドライバが見つかりました」の画面で、「BKSTROSM.HAM」を選択します。

9 ネットワークドライバをインストールします。

「記憶デバイス」に「BKSTROSM」、「IDECD」と表示され、「ネットワークボード」に「CE100B」と表示されます。

10 以降、インストーラおよび、NetWare5.1 に添付されたマニュアルの指示に従って、NetWare5.1 のインストールを続行します。

・Storage Manager ユーティリティの追加 (P211、P224、P242)

Storage Manager ユーティリティを追加する。

SCSI アレイコントローラカード 管理ツールのインストール

(SCSI アレイコントローラカード(GP5-150/1501/151) をご使用の場合)

・ Storage Manager ユーティリティ

Storage Manager は、アレイコントローラカードおよびディスクアレイを管理するためのユーティリティです。

(10) 拡張RAM モジュール搭載時の注意(P204、214、237)

SCSI アレイコントローラカード(GP5-1441)サポートにともない、拡張RAM モジュール搭載時の最大メモリ容量を変更する。(3.75GB → 3.7GB)

誤:

OS	搭載可能容量	使用可能容量
Windows 2000 Server	~ 4.0GB	3.75GB (3.75GB を超えるメモリ容量は、PCI リソース領域として本サーバが使用します。)

正:

OS	搭載可能容量	使用可能容量
Windows 2000 Server	~ 4.0GB	3.7GB (3.7GB を超えるメモリ容量は、PCI リソース領域として本サーバが使用します。)

*OS 名称は各インストールの名称に読み替えてください。

(11) 「6.7 Servervisor / Intel® LANDesk® Server Manager について」 (P254)

Servervisor / Intel® LANDesk® Server Manager が表示、および通知する電圧情報について、注意事項を追加。

注意事項追加：電圧センサ名、電圧異常検出時の通知メッセージについて

Servervisor / Intel® LANDesk® Server Manager において、Servervisor コンソール / FSC2 コンソールに表示される電圧センサ名や、電圧異常検出時に通知する各種メッセージ(イベントログ、アラートメッセージ)に含まれる電圧情報(xxV 電圧)は、電圧線(電圧ライン)の名称を示しております。

版数が F1 以降のマザーボードでは、2.5V 電圧ラインの実電圧値は 2.7V に変更しております。

センサ名 Voltage 2.5V	
マザーボード版数(*)	実電圧値
A1,A101,A102,B1,C1,D1,E1	2.5V
F1 以降	2.7V

*マザーボード版数は、当マニュアル『(4) System BIOS ID による閾値の変更-図 1』を参照してください。

これにともない、Servervisor / Intel® LANDesk® Server Manager が 2.5V ライン電圧異常を検出する閾値の設定値も、マザーボード版数により異なります。2.5V ラインの電圧閾値の設定は、マザーボード版数により以下の通りです。

マザーボード版数	2.5V ライン閾値			
	下限異常	下限警告	上限警告	上限異常
A1,A101,A102,B1,C1,D1,E1	2.2V	2.3V	2.7V	2.8V
F1 以降の場合	2.4V	2.5V	2.9V	3.0V

2.5V ラインの実電圧が、上記、閾値範囲をはずれた場合、Servervisor / Intel® LANDesk® Server Manager は、マザーボード版数に関係なく、以下のようなメッセージを表示します。

メッセージ例：

- 2.5V 電圧で下限警告が検出されました。
- 2.5V 電圧で下限異常が検出されました。
- 2.5V 電圧で上限警告が検出されました。
- 2.5V 電圧で上限異常が検出されました。
- 2.5V 電圧が正常に復日しました。

(12) 起動監視機能(POST 監視)に関する注意事項(P262～264、352)

POST 監視の初期設定値を以下のように変更いたします。

- POST 監視 : 監視する
- タイムアウト時間 : 30分
- リトライ回数 : 3回

なお、取扱説明書には以下の作業を行う場合、起動監視機能(POST 監視)を「監視しない」に設定してから実施するように記載していますが、上記設定(タイムアウト時間が30分以上)であれば、設定を変更する必要はありません。

- BIOS セットアップユーティリティの起動方法(P56)
- SCSI Select ユーティリティの起動と終了(P102)
- BIOS Setup Rescue による BIOS 情報の退避(P118)
- BIOS Setup Rescue による BIOS 情報の復元(P120)
- 拡張 RAM モジュールの取り付け/取り外し(P136)
- 内蔵ハードディスクユニットの取り付け/取り外し(P146)
- SCSI カード/SCSI アレイコントローラカードの取り付け/取り外し(P167)
- ドライブディスクの作成方法(P197)
- SCSI アレイコントローラカードの設定(Advanced Functions) 確認(P199)
- フロッピーディスクドライブのクリーニング(P280)
- イベントログの参照(P304)
- イベントログ情報の採取(P305)

《ポイント》

「拡張 RAM モジュールの取り付け/取り外し」以外は、タイムアウト時間に関係なく、起動監視機能(POST 監視)を「監視しない」に変更する必要はありません。

「拡張 RAM モジュールの取り付け/取り外し」を行う場合で、タイムアウト時間が30分未満に設定されている場合のみ、作業の実施にあたっては、「監視しない」に設定してください。

作業完了後、「監視する」に再度設定する場合は、搭載メモリ容量に応じたタイムアウト時間を設定してください。搭載メモリ容量に応じたタイムアウト時間の見積もりについては、取扱説明書『6.8.3 起動監視機能設定メニュー(POST 監視時間について)』(P264)を参照してください。

(13)「付録 A.1.1 本体仕様」(P310)

Rackmount インストールタイプ、Rackmount アレイタイプおよび 2 月発表タイプの追加にともない、以下の記述を追加いたします。

PRIMERGY ES320 (発表月: 2001 年 2 月発表タイプ)

タイプ		ディスクレス タイプ	NT 4.0 タイプ	NT 4.0 アレイタイプ (*1)	
				4A	5A
型名	Pentium® III 800EBMHz	GP53CB1A2	GP53CB1N2	GP53CB112	GP53CB122
	Pentium® III 933MHz	GP53CE1A2	GP53CE1N2	GP53CE112	GP53CE122
	Pentium® III 1BGHz	GP53CL1A2	GP53CL1N2	GP53CL112	GP53CL122
CPU	周波数(2 次キャッシュ)	Pentium® III 800EBMHz / 933MHz / 1BGHz (256KB)			
	マルチ数	1 (最大 2)			
メモリ	標準	256MB (256MB DIMM×1 枚)			
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB			
	最大容量	4 スロット 4GB (1024MB DIMM×4 枚)			
ビデオ RAM 容量		4MB			
グラフィックス		VGA チップ: ATI RAGE XL (PCI) 640×480, 800×600, 1024×768, 1280×1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる (*2)			
サーバモニタモジュール		オプション			
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、 1/4 インチ CRMT ユニット、DLT ユニット (2 ベイ占有) DAT オートチェンジャ (2 ベイ占有)			
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)			
内蔵 3.5 インチハードディスクベイ		5 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)			
	標準	オプション	9.1GB×1 (10,000rpm)	9.1GB×3 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB (Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI)			
	内蔵最大	36.4GB × 5 ベイ = 182.0GB			
ディスクアレイ		オプション			
バックアップキャビネット		オプション			
拡張スロット		PCI スロット (64bit/33MHz) × 4、PCI スロット (32bit/33MHz) × 2 (アレイタイプは、SCSI アレイコントローラカードで PCI スロットを 1 スロット占有済み)			
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載			
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T) × 1 (ベースボード標準搭載) シリアル×2、パラレル×1、キーボード、マウス、モニタ、USB×2、RCI×1			
キーボード/マウス		標準添付			
外形寸法横幅×奥行き×高さ (mm)		174×615×449			
質量		最大 32Kg			
内蔵時計精度		誤差 2~3 分 / 月			
消費電力		最大 340W (最大 1224KJ/h)			
電源		AC100V (50 / 60Hz) / 二極接地型			
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源可能)			
ファン		4 個 (冗長ファン)			
エネルギー消費効率		J 区分 0.056 (Pentium® III 800EBMHz) / J 区分 0.052 (Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.049 (Pentium® III 1BGHz)			

*1) グループウェアの TeamWare Office を添付しています。

*2) ドライバのインストールには、Windows NT 4.0 サービスパック 4 以降が必須です。

PRIMERGY ES320 (発表月: 2001 年 2 月発表タイプ)

タイプ		Linux タイプ	Linux アレイタイプ	Windows 2000 タイプ	Windows 2000 アレイタイプ 4/5	ラックマウント タイプ
型名	Pentium® III 800EBMHz	GP53CB1G2	GP53CB1GV2	GP53CB1K2	GP53CB152/ GP53CB162	GP53CB1R2
	Pentium® III 933MHz	GP53CE1G2	GP53CE1GV2	GP53CE1K2	GP53CE152/ GP53CE162	GP53CE1R2
	Pentium® III 1BGHz	GP53CL1G2	GP53CL1GV2	GP53CL1K2	GP53CL152/ GP53CL162	GP53CL1R2
CPU	周波数 (2 次キャッシュ)	Pentium® III 800EBMHz / 933MHz / 1BGHz (256KB)				
	マルチ数	1 (最大 2)				
メモリ	標準	256MB (256MB DIMM×1 枚)				
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB				
	最大容量	4 スロット 4GB (1024MB DIMM×4 枚)				
ビデオ RAM 容量		4MB				
グラフィックス		VGA チップ: ATI RAGE XL (PCI) 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる				
サーバモニタモジュール		オプション				
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、 1/4 インチ CRMT ユニット、DLT ユニット (2 ベイ占有) DAT オートチェンジャ (2 ベイ占有)				
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)				
内蔵 3.5 インチハードディ スクベイ		5 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)				
	標準	9.1GB×1 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)	9.1GB×1 (10,000rpm)	9.1GB/18.2GB×3 (10,000rpm)	オプション
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB (Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI)				
	内蔵最大	36.4GB × 5 ベイ = 182.0GB				
ディスクアレイ		オプション				
バックアップキャビネット		オプション				
拡張スロット		PCI スロット (64bit/33MHz) × 4, PCI スロット (32bit/33MHz) × 2 (アレイタイプは、SCSI アレイコントローラカードで PCI スロットを 1 スロット占有済み)				
フロッピーディスクドライブ インタフェース		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載 LAN(100BASE-TX / 10BASE-T)×1 (ベースボード標準搭載) シリアル×2, パラレル×1, キーボード、マウス、モニタ、USB×2, RCI×1				
キーボード / マウス		標準添付				-
外形寸法 横幅 × 奥行き × 高さ (mm)		174 × 615 × 449				482 × 565 × 174 (取っ手含まず / DLT ユニット搭 載時は奥行き 565 595)
質量		最大 32Kg				最大 35Kg
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分 / 月				
消費電力		最大 340W (最大 1224KJ/h)				
電源		AC100V (50 / 60Hz) / 二極接地型				
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源可能)				
ファン		4 個 (冗長ファン)				
エネルギー消費効率		J 区分 0.056 (Pentium® III 800EBMHz) / J 区分 0.052 (Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.049 (Pentium® III 1BGHz)				

PRIMERGY ES320 (発表月：2001 年 2 月発表タイプ)

タイプ		NT 4.0タイプ (Rack)	NT 4.0 アレタイプ 5A (Rack)	Windows 2000タイプ (Rack)	Windows 2000 アレタイプ 5 (Rack)	Linux タイプ (Rack)	Linux アレタイプ (Rack)
型名	Pentium® III 800EBMHz	GP53CBRN2	GP53CBR22	GP53CBRK2	GP53CBR62	GP53CBRG2	GP53CBRGV2
	Pentium® III 933MHz	GP53CERN2	GP53CER22	GP53CERK2	GP53CER62	GP53CERG2	GP53CERGV2
	Pentium® III 1BGHz	GP53CLRN2	GP53CLR22	GP53CLRK2	GP53CLR62	GP53CLRG2	GP53CLRGV2
CPU	周波数 (2 次キャッシュ)	Pentium® III 800EBMHz / 933MHz / 1BGHz (256KB)					
	マルチ数	1 (最大 2)					
メモリ	標準	256MB (256MB DIMM×1 枚)					
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB					
	最大容量	4 スロット 4GB (1024MB DIMM×4 枚)					
ビデオ RAM 容量		4MB					
グラフィックス		VGA チップ: ATI RAGE XL (PCI) 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる (*2)					
サーバモニタモジュール		オプション					
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、 1/4 インチ CRMT ユニット、DLT ユニット (2 ベイ占有)、 DAT オートチェンジャ (2 ベイ占有)					
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)					
内蔵 3.5 インチハードディ スクベイ		5 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)					
	標準	9.1GB×1 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)	9.1GB×1 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)	9.1GB×1 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB (Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI)					
	内蔵最大	36.4GB × 5 ベイ = 182.0GB					
ディスクアレイ		オプション	標準	オプション	標準	オプション	標準
バックアップキャビネット		オプション					
拡張スロット		PCI スロット (64bit/33MHz) × 4、PCI スロット (32bit/33MHz) × 2 (アレタイプは、SCSI アレイコントローラカードで PCI スロットを 1 スロット占有済み)					
フロッピーディスクドライブ インタフェース		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載 LAN(100BASE-TX / 10BASE-T) × 1 (ベースボード標準搭載) シリアル×2、パラレル×1、キーボード、マウス、モニタ、USB×2、RCI×1					
キーボード / マウス		-					
外形寸法 横幅 × 奥行き × 高さ (mm)		482 × 565 × 174 (取っ手含まず / DLT ユニット搭載時は奥行き 565 595)					
質量		最大 35Kg					
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分 / 月					
消費電力		最大 340W (最大 1224KJ/h)					
電源		AC100V (50 / 60Hz) / 二極接地型					
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源可能)					
ファン		4 個 (冗長ファン)					
エネルギー消費効率		J 区分 0.056 (Pentium® III 800EBMHz) / J 区分 0.052 (Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.049 (Pentium® III 1BGHz)					

*2) ドライバのインストールには、Windows NT 4.0 サービスパック 4 以降が必須です。

PRIMERGY ES320 (発表月: 2000 年 12 月発表タイプ)

タイプ		NT 4.0 タイプ (Rack)	NT 4.0 アレイ タイプ 3A (Rack)	Windows 2000 タイプ (Rack)	Windows 2000 アレイタイプ 3 (Rack)	Linux タイプ (Rack)	Linux アレイタ イプ(Rack)
型名	Pentium® III 800EBMHz	GP53CBRN	GP53CBR2A	GP53CBRK	GP53CBR6	GP53CBRG	GP53CBRGV
	Pentium® III 933MHz	GP53CERN	GP53CER2A	GP53CERK	GP53CER6	GP53CERG	GP53CERGV
	Pentium® III 1BGHz	GP53CLRN	GP53CLR2A	GP53CLRK	GP53CLR6	GP53CLRG	GP53CLRGV
CPU	周波数 (2 次キャッシュ)	Pentium® III 800EBMHz / 933MHz / 1BGHz (256KB)					
	マルチ数	1 (最大 2)					
メモリ	標準	256MB (256MB DIMM×1 枚)					
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB					
	最大容量	4 スロット 4GB (1024MB DIMM×4 枚)					
ビデオ RAM 容量		4MB					
グラフィックス		VGA チップ: ATI RAGE XL (PCI) 640 × 480, 800 × 600, 1024 × 768, 1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる (*2)					
サーバモニタモジュール		オプション					
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROM ユニット、DAT ユニット、光磁気ディスクユニット、 1/4 インチ CRMT ユニット、DLT ユニット (2 ベイ占有)、 DAT オートチェンジャ (2 ベイ占有)					
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)					
内蔵 3.5 インチハードディ スクベイ		5 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)					
	標準	9.1GB×1 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)	9.1GB×1 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)	9.1GB×1 (10,000rpm)	18.2GB×3 (10,000rpm)
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB (Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI)					
	内蔵最大	36.4GB × 5 ベイ = 182.0GB					
ディスクアレイ		オプション	標準	オプション	標準	オプション	標準
バックアップキャビネット		オプション					
拡張スロット		PCI スロット (64bit/33MHz) × 4, PCI スロット (32bit/33MHz) × 2 (アレイタイプは、SCSI アレイコントローラカードで PCI スロットを 1 スロット占有済み)					
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載					
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T) × 1 (ベースボード標準搭載) シリアル×2、パラレル×1、キーボード、マウス、モニタ、USB×2、RCI×1					
キーボード/マウス		-					
外形寸法 横幅×奥行き×高さ (mm)		482 × 565 × 174 (取っ手含まず / DLT ユニット搭載時は奥行き 565 595)					
質量		最大 35Kg					
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分 / 月					
消費電力		最大 340W (最大 1224KJ/h)					
電源		AC100V (50 / 60Hz) / 二極接地型					
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源可能)					
ファン		4 個 (冗長ファン)					
エネルギー消費効率		J 区分 0.056 (Pentium® III 800EBMHz) / J 区分 0.052 (Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.049 (Pentium® III 1BGHz)					

*2) ドライバのインストールには、Windows NT 4.0 サービスパック 4 以降が必須です。

- 以上 -